



われは アクアの子 はなぞのの



今年度は、生活介護だけでの水泳活動に取り組んでいます。先週土曜日が2回目でしたが、全体で4回の活動を計画しています。

内容としては昨年度と変わりはないのですが、アクアドームの25mプールを歩いたり泳いだり歩いたりしています。昨年との違いは、新人利用者の方がたくさんおられるということではないでしょうか。4人ほどの方が、写真の小さなプールで水を楽しんでおられました。その他の方々は、ずっと

向うのレーンにいます。ちっちゃくて分かりませんが、ひとりで泳いだり、ビート板につかまりバチャバチャしたりしておられます。回数は少ないのですが、存分に水の活動を楽しんでほしいと思っています。

花心班では、8月に別計画で実施するようにしています。プールをはじめとして、自分がやってみたいことを楽しんだり、他の方を誘って楽しんだり、一緒に会食したりとか…
…どんな活動になるのか乞うご期待を。

やさしく やさしく ていねいに

右の写真の伊東さんと西村さんは、素焼きする前の乾燥したお皿を磨いています。まだ焼いていませんので、ちょっと力が入りすぎると、パリッと音もなく欠けてしまいます。やさしく、やさしく、ていねいに扱わないといけません。



この段階でツルツルになっていると、素焼き・釉薬かけ・本焼きと進んで完成すると、きれいなお皿に仕上がります。ふたりが磨いたお皿の仕上がりは……。

先週でご家族の方との面談が終わりましたが、そのなかで作業を以前のようにしっかりやってほしいという話をお聞きしました。確かに、10数年前に私が訪問させて頂いた時には、木工作業とか眼を見張るものがありました。

しかし、利用者さんの様子や職員の技術力・学苑の環境等から、なかなか難しいものがあります。各グループとも、いろいろと計画的に進めてはいますが、さらに研鑽を積んでいい活動にしていきたいとは考えています。ただ、はなぞの学苑の作業活動をどう考えるかによっても違ってきますので、ご家庭との連携を深めながら互いの共通理解を図り、楽しい学苑生活のひとつにしていきたいと考えています。

今日は たなばた



七夕の歴史は古く、日本には平安時代に入ってきたと言われていました。

元々はお盆と関連した行事であったようですが、今のように願い事を短冊に書いて竹に吊るすという事は江戸時代になってからのようです。織姫と彦星が、天の川で再会するというお話も加わり、ふたりのように願い事がかないますようにと笹や竹の葉に飾るようになりました。また、冬でも緑を保ち、まっすぐ育つ生命力にあふれた笹や竹には、昔から不思議な力があると言われてきて、神聖な植物と考えられ、用いられていたようです。

皆さんはどんなお願いごとをされますか。私は、あれとこれと2つの願い事をかなえてほしいと思っています。 「神様、あれとこれができますように！！」